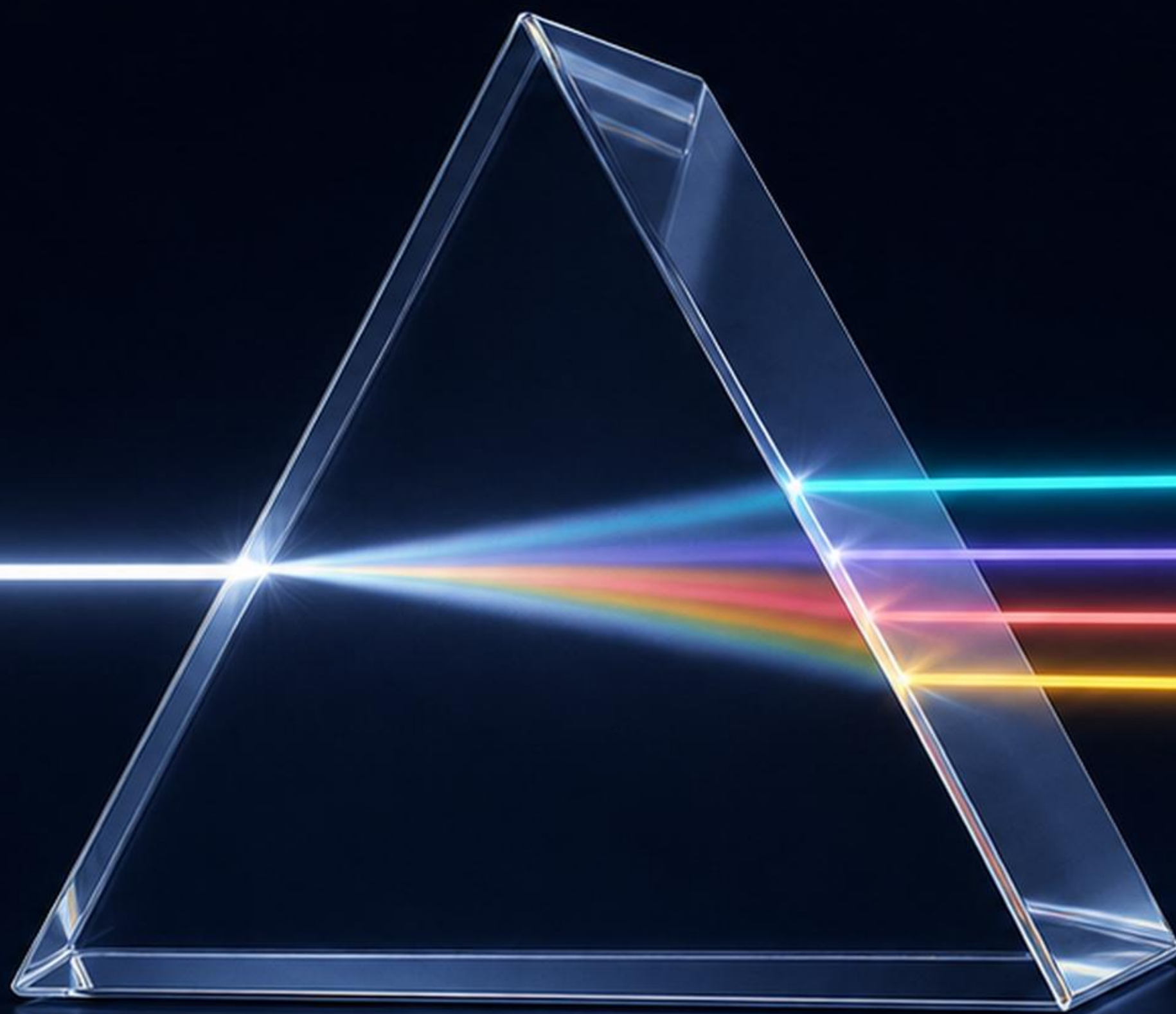


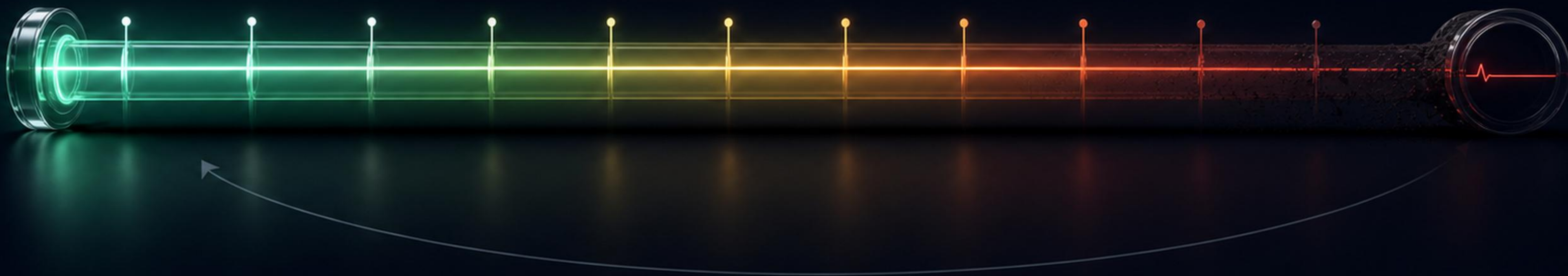
PRISM

動いているプロジェクトの「いま」が、
ひとりでに見える。



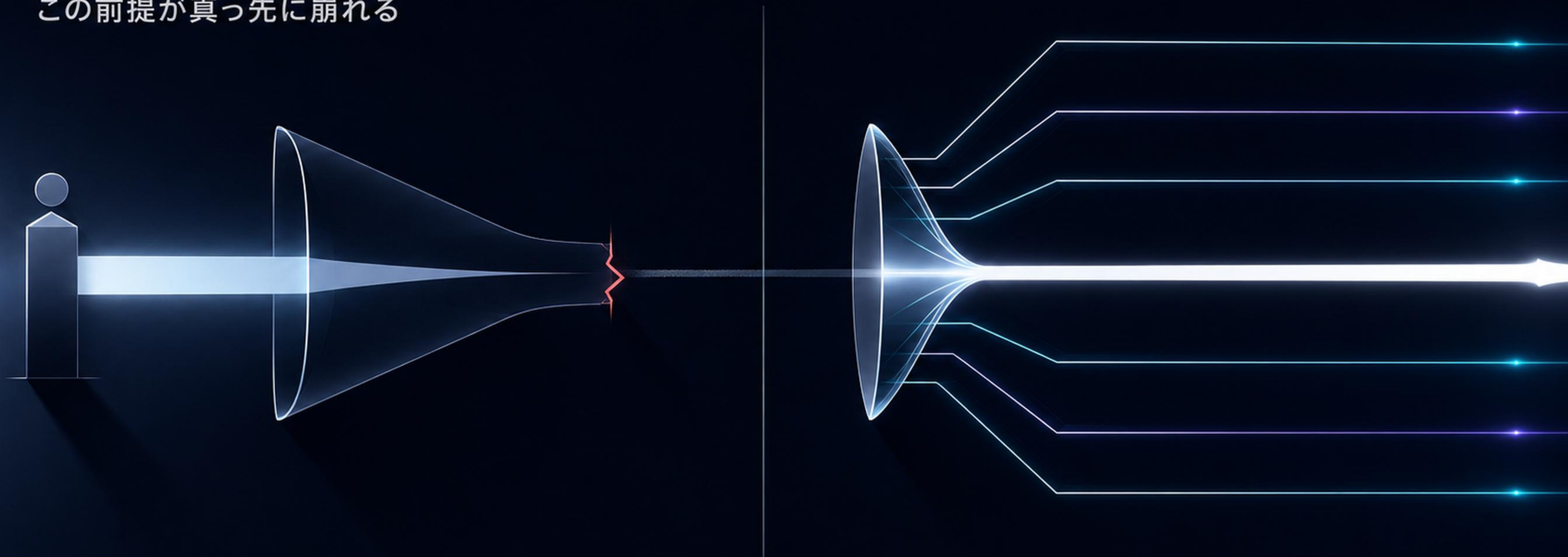
ツールは、6ヶ月で墓場になる

問題はツールではなく、入力を人間に依存する構造にある



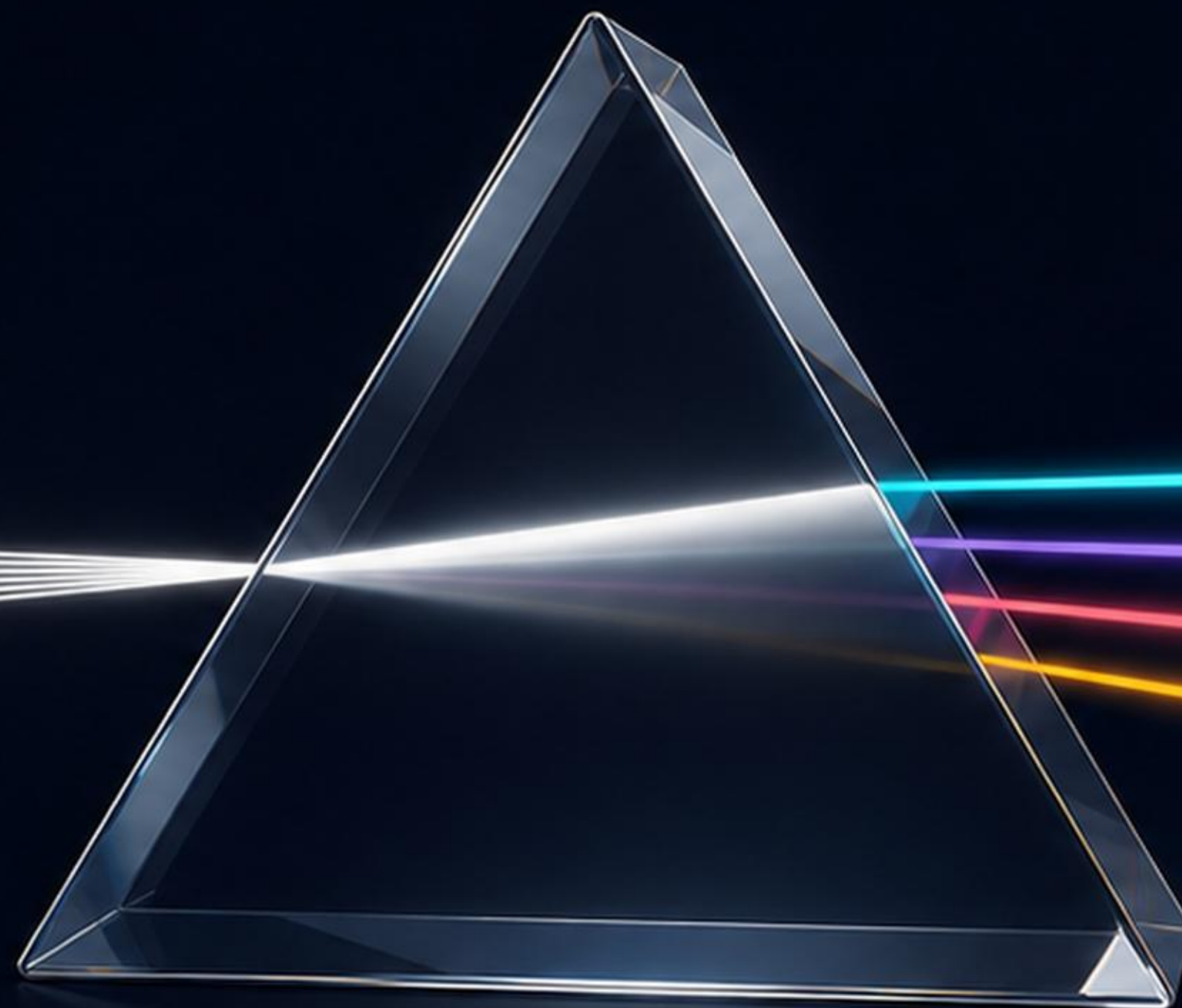
壊れているのは、前提だ

少人数・多プロジェクト環境では、
この前提が真っ先に崩れる



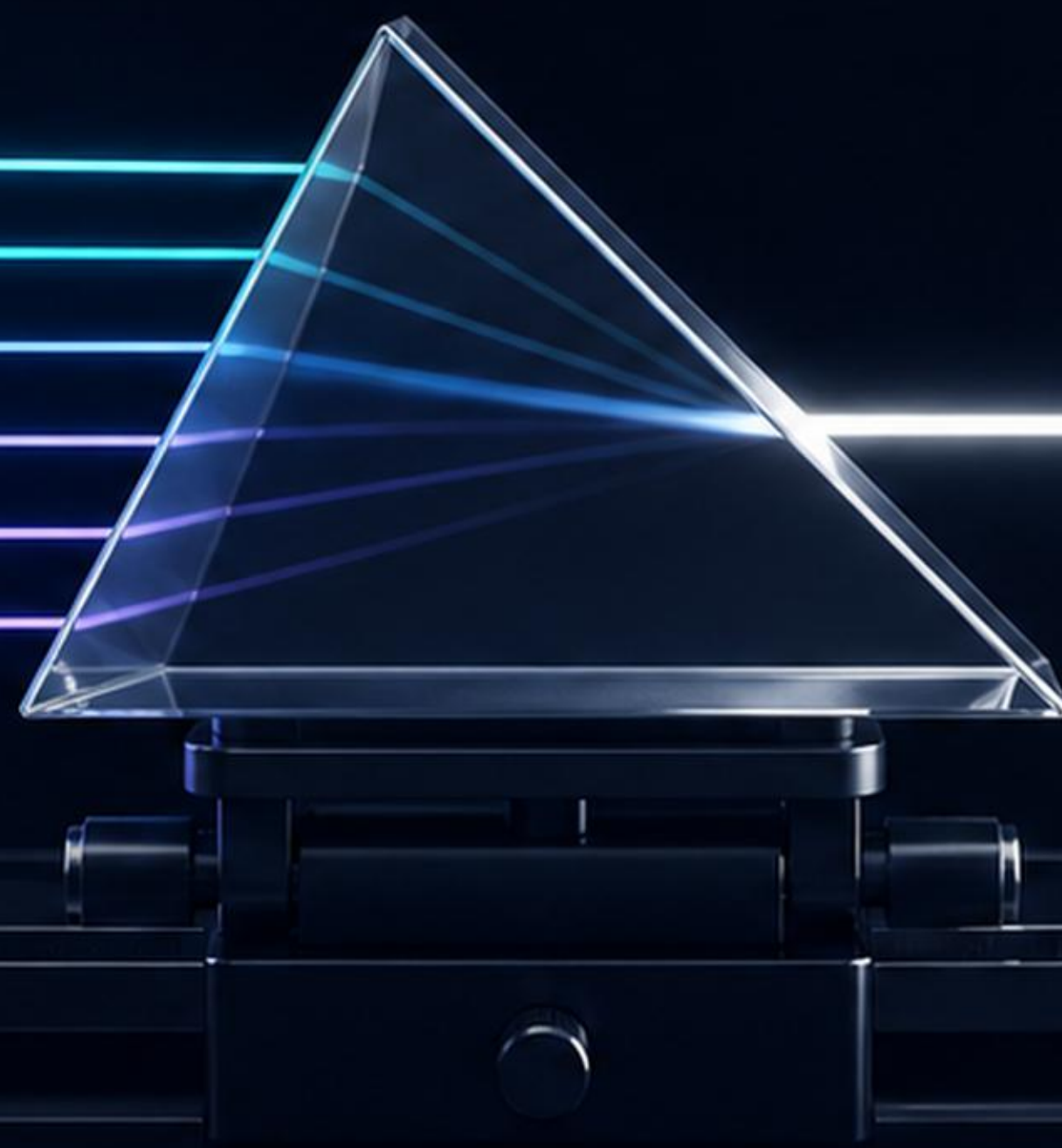
入力しない進捗管理

入力ではなく、
違ったときに訂正するだけ。



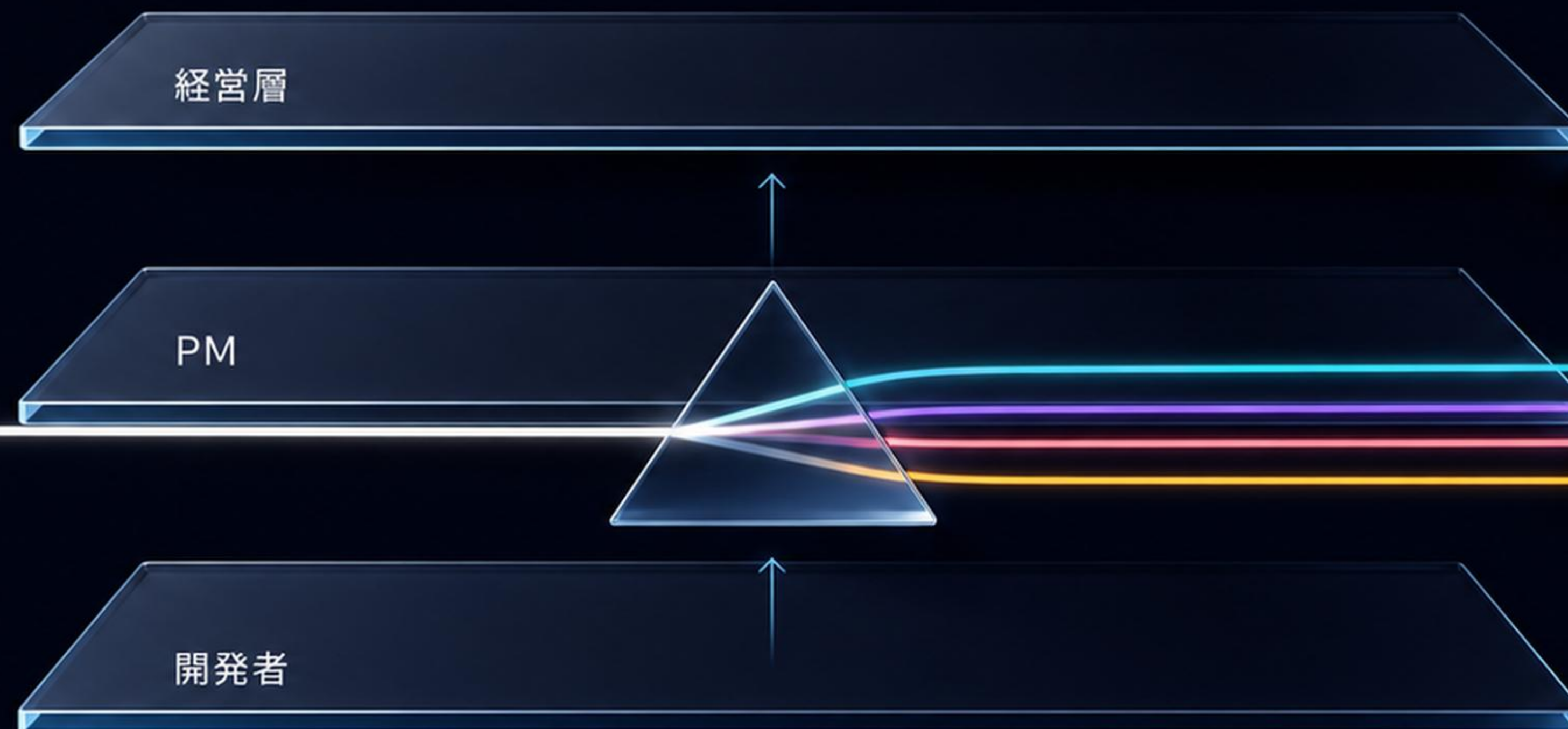
シグナルは、すでにある

6系統をつなぐだけで、
進捗の推定材料が揃う



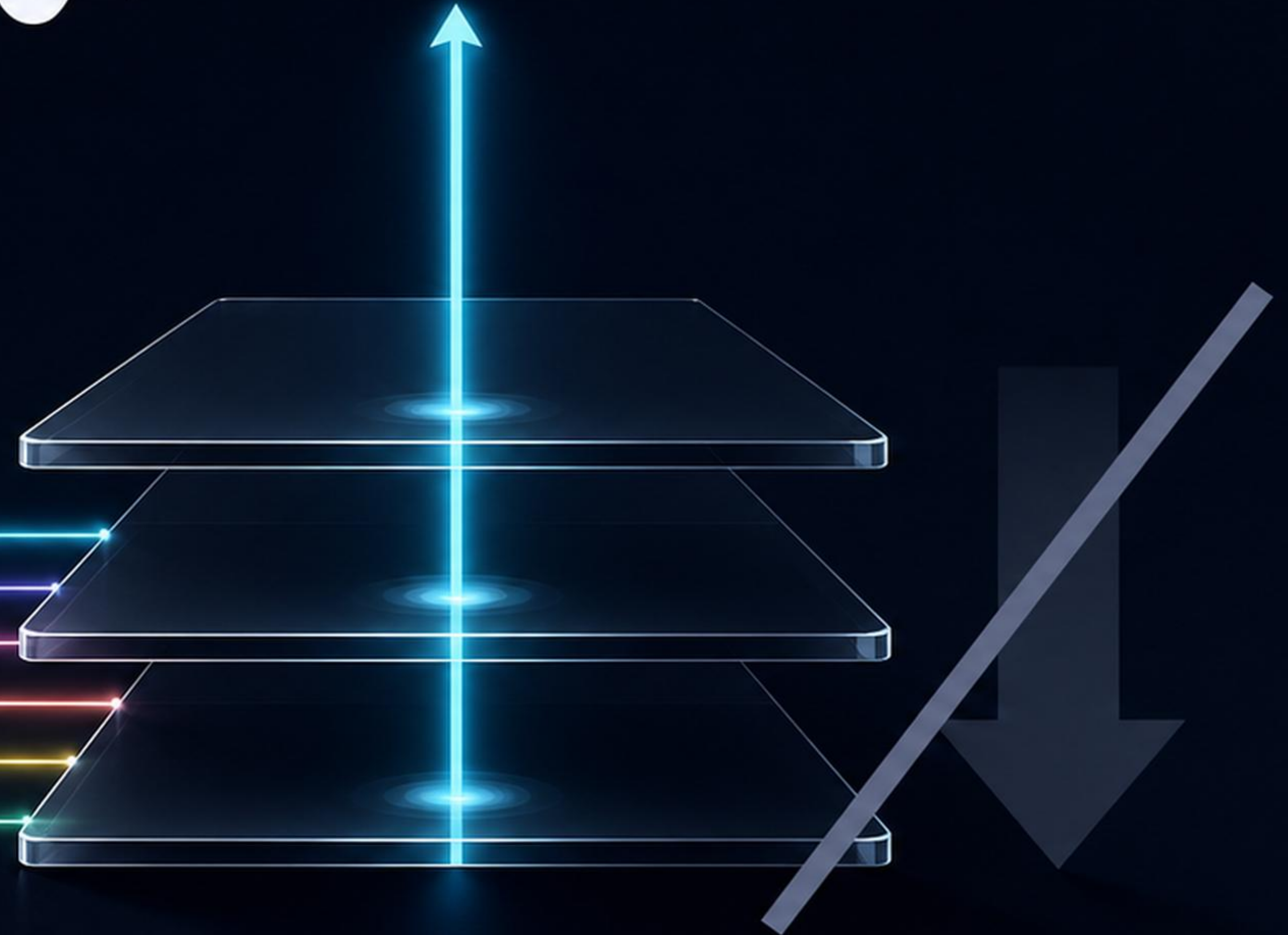
3階層へ、自動翻訳

翻訳はツールがやる。
人間が資料を作り直さない



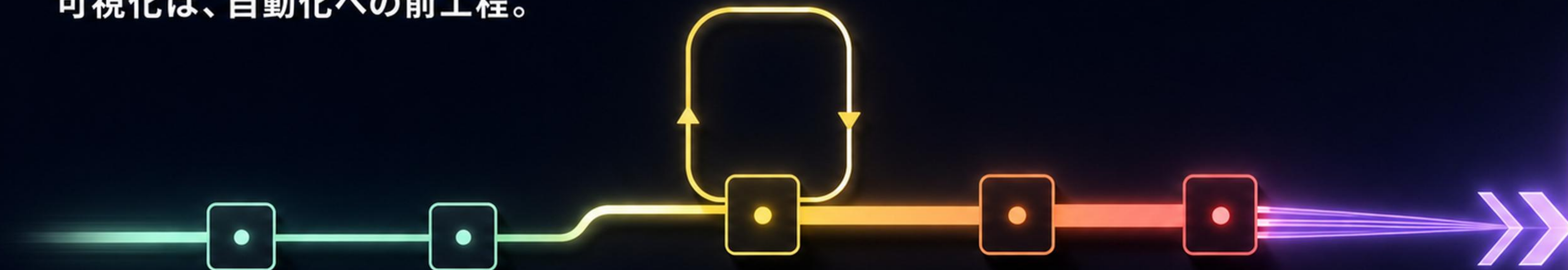
仕事は増えない

報告のための作業を、
発生させない



見えないプロセス

可視化は、自動化への前工程。



既存ツールを、置き換えない

乗り換えを求めないから、
導入判断のハードルが劇的に下がる



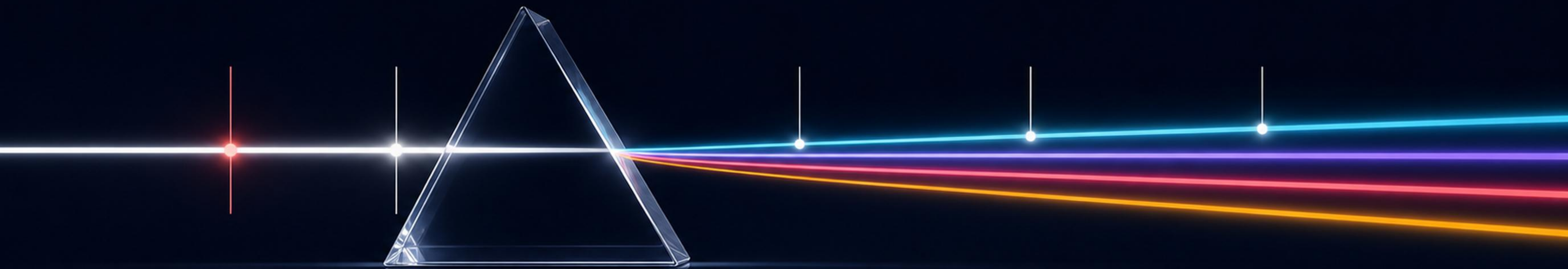


監視ツールには、 しない

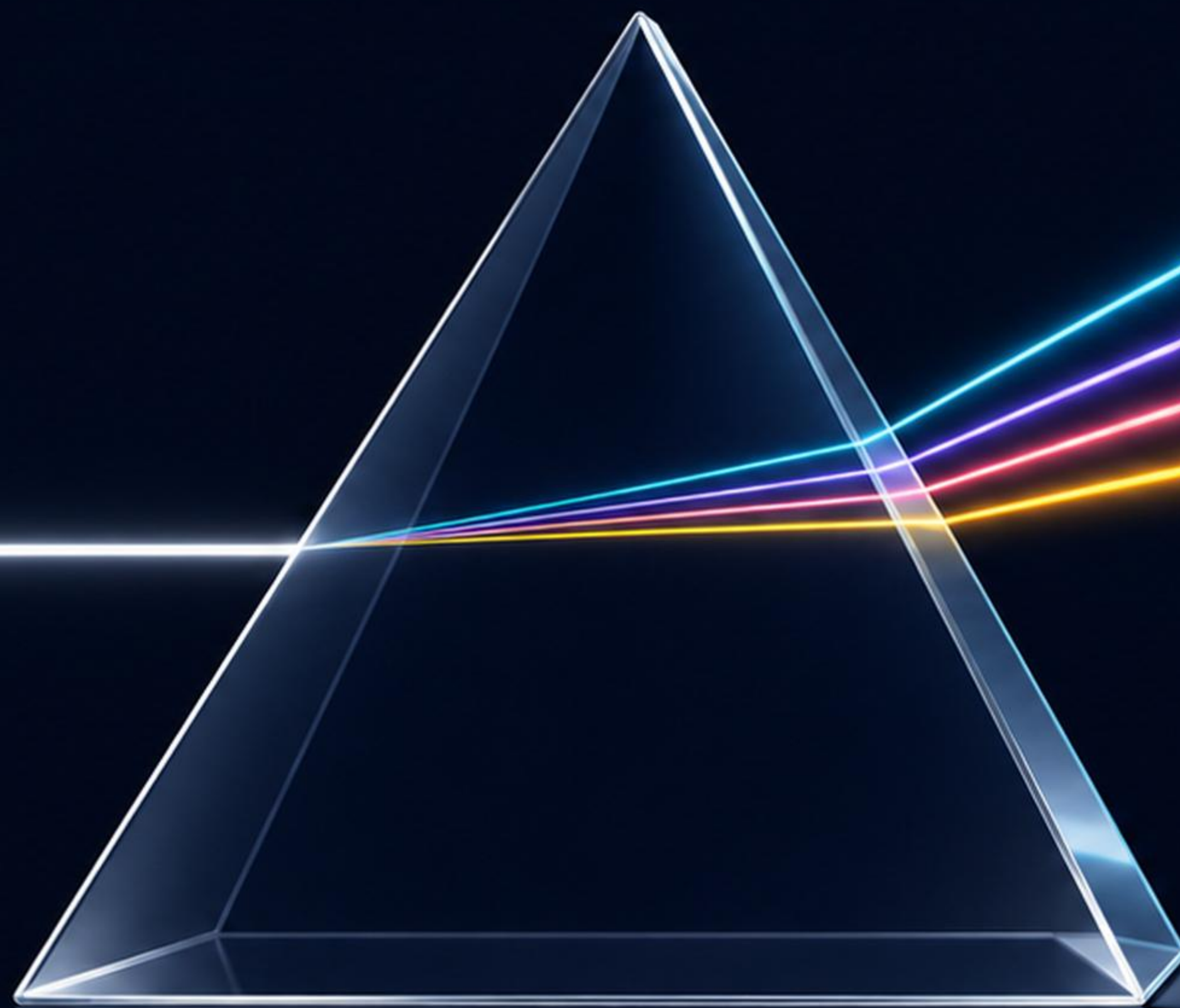
個人の生産性を評価する指標を、
意図的に実装しない

検証から自動化まで、24ヶ月

可視化 → 分解 → 自動化。最大リスクは、最初に潰す。



可視化はゴールではなく、
自動化への入口である。



PRISM

動いているプロジェクトの「いま」が、ひとりで見える。
TEKION Group